

あんしんは、目にみえない。 だから「ふくしまの卵」はここまでやります。

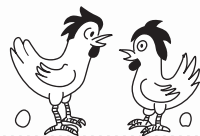
いつも福島県産の卵をお買い上げいただき、ありがとうございます。

私たち生産者は、東日本大震災による被災という厳しい環境の中、卵を安心して美味しく召し上がっていただくために、最大限の努力を続けています。

そして今、県で実施しているモニタリング検査に加え、自主的に検査を実施できる設備が整いました。

現在のところ、いずれの検査でも放射性物質は検出されていません。これからも、きめ細かな検査を実施し、随時ご報告いたします。

どうか今後も、変わらぬご愛顧をよろしく願いいたします。



ここまでやります、徹底管理と徹底検査。

考えられる放射能汚染の主な経路は「エサ・水・空気」の3つ。その1つひとつにおいて、徹底的な管理・検査を行っています。

● エサの管理

ほとんどすべての配合飼料は輸入されています。原料はサイロ（貯蔵庫）で配合され、飼料タンクに移し、出荷。そのまま鶏たちの口に運ばれます。

● 水の管理

鶏たちには、地中深くから採水される井戸水を与えています。ですから、地表にとどまりやすいとされる放射能の影響を受けにくいのです。

● 空気の管理

鶏たちは、屋根のある小屋の中で飼育しています。外気によって放射能に汚染される可能性は少ないのです。

● 自主検査

県による定期的な検査のほかに、福島県養鶏協会独自のモニタリング検査を実施しています。これまで、エサ、水、卵をそれぞれ検査しましたが、いずれの検査でも放射性物質は検出されませんでした。

ふくしまの卵

検索

モニタリング検査の結果の詳細は、
協会ホームページまで。

